

No.206



HPは
こちら

坂東地域アグリ通信

令和4年12月20日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

坂東地域農村女性講座「ハーブ調味料づくり」を開催しました

普及センターでは、女性農業者の資質向上と地域農業者とのネットワークの構築に向け、農村女性講座を開催しています。

11月28日、管内の若手女性農業者を対象に、ハーブ調味料づくり講座を開催しました。ハーブ苗を生産している(有)グリーンハウス小山の小山玲子氏と小林樹里氏を講師として招き、(有)グリーンハウス小山で栽培しているハーブを利用した調味料(ハーブソルト、ハーブオイル)の作り方を学びました。講師による各ハーブ調味料の作り方と用途の説明後、各自好きなハーブを組み合わせる調味料を作りました。実習中は、質疑や意見交換が活発に行われ、ハーブ調味料の関心の高さが伺えました。

参加者からは、「自宅でハーブ調味料をつくるきっかけとなった」、「料理での利用が楽しみ」、「今年のクリスマス料理に使用したい」、「管内女性農業者と交流できて良かった」等の感想を聞くことができました。

普及センターでは、活躍する女性農業者の育成に向け、引き続き講座等を通して支援していきます。



五霞町で水稻栽培講習会を行いました

11月29日、五霞町うまい米づくり実践委員会と五霞地区普通作生産部会による水稻栽培講習会講習会が開催され、9名の生産者が参加しました。普及センターから、定点調査の結果や品質分析結果、病害虫の発生状況を踏まえて、次年度の栽培方法について講習しました。質疑応答では、今年度発生が多かった白未熟粒・乳白粒対策についての質問が数多く上がり、良食味米生産に関する意欲の高さが伺えました。

五霞町うまい米づくり実践委員会では、化学肥料や化学合成農薬を5割以上削減する特別栽培に取り組んでおり、生産物は「道の駅ごか」内の農産物直売所で販売する他、ふるさと納税の返礼品にも選ばれています。

普及センターは、高品質米の生産販売について引き続き支援していきます。



低温や降雪による凍害等に気を付けましょう。トンネルなどで対策!



病害虫について～トマト葉かび病～

☑ 発生しやすい条件

気温20～25℃、多湿、密植のほか、肥料切れなどにより草勢の衰えたとき。

☑ 防除上注意すべき事項

- ・ 抵抗性品種であっても発生する場合がある。
- ・ 発生が多くなると防除が困難になるため、初期防除を徹底する。
- ・ 罹病部はできるだけ切り離し、ハウス外に持ち出す。
- ・ 施設ならば換気による通風や土壌のマルチ被覆、点滴灌水など、露地ならば通風しやすい株の配置や圃場の排水改善などにより、高湿度条件を避ける。



葉の病徴（葉表）

写真出典：農業総合センター病害虫防除部 病害虫資料室「トマト葉かび病」より

農作業機を装着した農機トラクタの公道走行

～直装式農作業機におけるチェックポイント～

全てのチェックポイントをクリアできたら、公道走行が可能です

☑ 灯火器類の確認

農作業機を装着していても、灯火器類（車幅灯、テールランプ等）が他の交通から確認できることが大切になる。

☑ 車体の幅確認

農耕トラクタ単体で、長さ4.7m以下、幅1.7m以下、高さ2.0m以下、かつ、最高速度15km/h以下の場合、農作業機を装着した状態で幅が1.7mを超えないか確認する。

超えている場合は「機体左側にサイドミラーを設置する」などの対応が必要になる。

☑ 運転の確認

農作業機を装着することで農耕トラクタの安全性（傾斜角度）が変わるため、安全性の保安基準（30度又は35度）を満たせなくなる場合がある。

安全性が確認されていない場合は、運転走行15km/h以下で走行する必要がある。

☑ 免許の確認

小型特殊免許・普通免許で運転が可能

農耕トラクタ単体又は農耕トラクタに農作業機を装着した状態で、寸法：長さ4.7m以下、幅1.7m以下、高さ2.0m以下、最高速度が15km/h以下の特定小型特殊自動車

車検制度上では上記の寸法を超えても最高速度が35km/hを超えない限り大型特殊には該当しないため、車検は必要はない。

1月 土壌診断実施日のお知らせ

1月11日（水）、25日（水）の2回の予定です

- ・ 個人の農家の方が対象です。
- ・ 受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- ・ 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・ **1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

編集後記

早いもので2022年も終わりますね。私は今年も大きな怪我、病気になることもなく過ごすことができました。

2023年も健康第一で過ごしていきたいと思います。

山本